

ATPは、地球上のあらゆる生き物がエネルギーの元として持っている物質で、菌などの微生物、肉、魚や野菜などの食べ物、ヒトの汗、唾液などの体液といった、生き物を含む多くの有機物に含まれています。

ATPが有るということは、そこに生き物に由来する何かが存在するということをし、
たくさん残っているということは、

- ・ 食品製造の現場では食品残渣など洗い残しや微生物増殖リスクがある
- ・ 医療現場では感染症汚染のリスク源になる可能性がある
- ・ 清掃の現場では清掃・洗浄残りとして汚れがある

ということをし意味します。

